

# 普段着の住宅にお客様をお迎えして。 ワクワクする「My CANVAS HOUSE」

けやき台3丁目の分譲地「KEYAKI CANVAS」に新しく誕生した、ウエルカム・プラザ。

その目的は、新しいお客様を迎えて、けやき台3丁目の魅力や新しい企画住宅「My CANVAS HOUSE」を理解いただく、いわゆるデモ・ハウスです。でも、そのためだけに建物を建てて、役目が終わったら壊してしまうのでは、資源の無駄使いです。そこで、この建物では、デモハウスとしての役目を終えた後は内装を手直しして、住まいとしてそのまま居住できることを前提として計画されています。



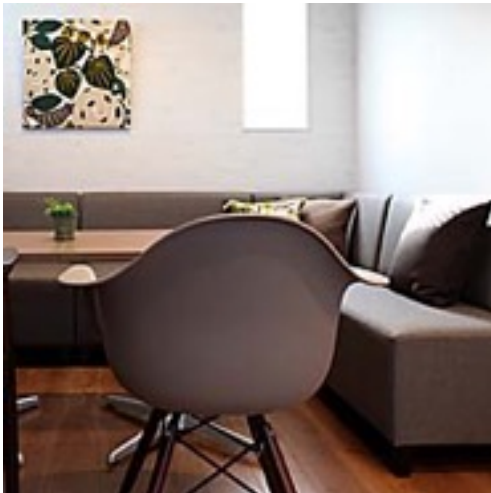
ここで設定した住まいのテーマは、「1階だけでも楽しく暮らせる家」。  
すでに子供たちが独立していて、夫婦だけの充実した生活を実現する住まい  
です。自分たちの価値観にあったものをじっくり選んで、流行などとは少し  
距離を置いた、熟成した大人の住まいです。

土地利用としては、プライバシーを大切にするために建物を敷地の道路側に  
配置し、南東にある庭を囲むようにウッドデッキや木の塀、植栽が配置され  
ています。外構に使われている石は、地元で採れた「生野丹波石」。境界に  
向かって押し出された建物と敷地境界との間に細長く残った土地を石と植栽  
で庭として生かし、街と共有することを狙っています。まだ植えたばかりで  
少し殺風景に感じるかもしれませんが、地被類なども育ってくるのが待ち遠  
しいです。それぞれの樹木や植栽には銘板が添えられているので、これから  
お庭を計画される方たちにとっては、植物図鑑のように使っていただけると  
考えました。



南東の角に向かってL型に配置された建物の南立面。  
自然石と植物で構成された敷地の周囲部分が、歩道の景観にもなるように計画されていま  
す。低木や地被類が育つのが待ち遠しいです。  
右側の建物では、イベントスペースを予定しています。

インテリアについても、木、石、鉄などの自然素材を用いて、時間を越えたモダンデザインの家具などが配置され、洗練された落ち着きのある雰囲気演出しています。



打ち合わせコーナーにかかっている2種類のパネルは「OTTAIPNU オットアイピヌ」マリメッコの日本人デザイナー鈴木マサル氏によるプライベートレーベル。マンガースとヘビがユーモラスに描かれています。

現地で新しいお客様を迎えるにあたり、この建物の役割は「My CANVAS HOUSE」のデモンストレーション。

私たち、ピーコンの住まいに対する考え方に共感いただくとともに、グレード



の高い標準仕様や選択肢の広さを理解いただき、さらには「これらを利用すると、こんな家ができる」という実例でもあります。サンプルやカタログなども数多く用意しました。実際に見て、触れて、さらには使い勝手やデザインを、ご自身で実感いただきたいとの思いでこの My HOUSE を準備しました。

例えば、最近話題の新しい壁クロスの使い方。ポイントクロスとよばれ、壁の一部分のクロスを少し濃くしたり、柄のクロスで雰囲気を出したり、遠近感を強調したり。興味深い使い方が各部屋のいろいろなところを利用して展示されています。是非、各部屋を回ってご覧ください。



子供部屋などは大胆な柄のクロスを使うのもおすすめです。その場合は、ぜひメーカーのショールームを訪れて、大きなサンプルで確認ください。

ムーミンの壁パネルとポイント・クロスを組み合わせたプレイルーム

2階は、最終的には予備室+納戸として使っていただく設計ですが、当面はプレゼンテーションや打ち合わせのための利用を予定しています。勾配天井の下、打ち合わせの楽しそうな声が1階へと伝わっていくでしょう。



多くのサンプルやカタログ類が揃っています。お気軽にお声がけ下さい。スタッフ一同、お待ちしております。